

CVH-E形 高速度地絡電圧継電器 誘導円筒形

Type CVH-E Induction Cup Type High Speed Ground Voltage Relay

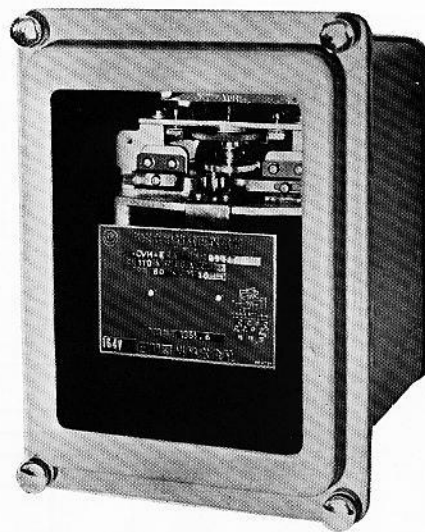
本器は送電線、配電線の地絡検出を目的とする誘導円筒形の高速度地絡電圧継電器で、接地変圧器の二次オープンデルタ回路に接続し、線路の地絡故障の際に生ずる零相電圧によつて高速度で動作します。

構造と動作

本器の駆動部は、可動接点を取り付けたアルミニウム製のきわめて薄い円筒形の回転子が、4極からなる外側固定子と内側柱状鉄心との狭い空隙中を回転する構造とし、相対する2極に接地変圧器の零相電圧を加え、この電圧をほぼ60度位相変換した電圧を他の2極に与えてトルクを生ずるように構成してあります。位相変換には外部回路に直列抵抗をそろう入して行なっています。

本器は、構造上安定したトルクを発生することができるため、低慣性能率でかつ軽量の回転子は高速度、高感度で動作します。すなわち、その動作時間はタップ値の200%の電圧において40ms以下の高速度で動作します。

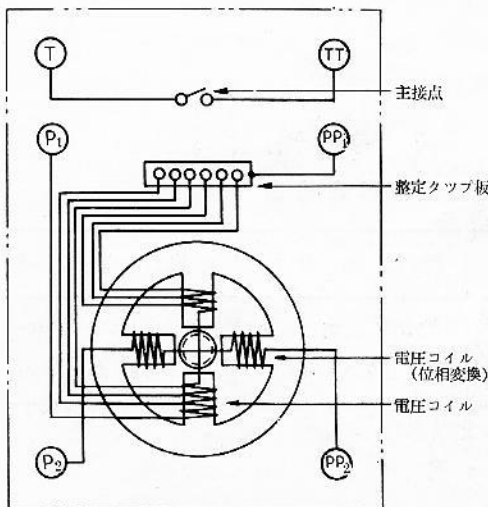
誘導円筒は独特なクラッチスプリングを介して、駆動軸に取り付けられているため、線路の地絡故障時において継電器に過大な電圧が加わつて、回転子に強大なトルクが作用した場合には、回転子と軸と



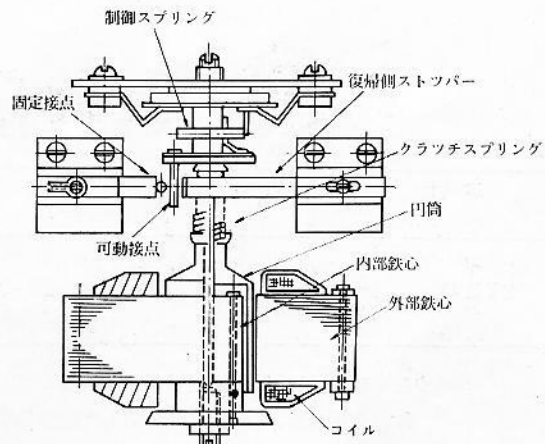
第1図 CVH-E形 高速度地絡電圧継電器 (埋込形)

の間に設けられた摩擦クラッチがスリップして、誘導円筒のみが主接点を閉路した状態で、回転を続け安定した接触を得るとともに、接点機構を保護する構造になっています。特に接点のチャタリングを完全に防止しており、また、構造上耐震耐衝撃性にすぐれています。

接点回路としての外部端子には、主接点を直接引き出してあり、地絡故障の高速度検出用としていますから、しゃ断器の引はずしに使用される場合は、



第2図 内部接続図(裏面)



第3図 内部構造図

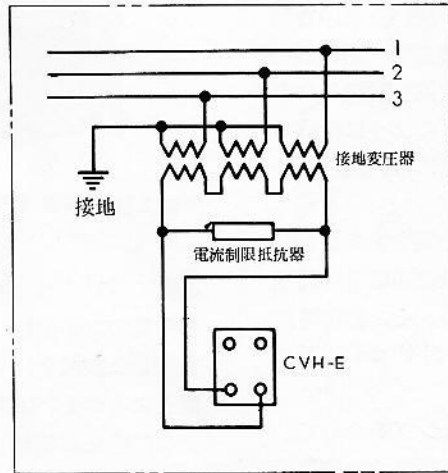
補助継電器と組み合わせて下さい。主接点は D.C. 100 V にて 5 A 閉路、0.3 A しゃ断の容量を持っています。

動作電圧値の整定

電圧整定用のタップを設けてあり、タップ板には

動作電圧値が銘記してあります。35—40—45—50—55—60 V の 6 タップを設けていますから、それぞれの系統に合わせて所要のタップ値にプラグをそう入して下さい。

外部接続



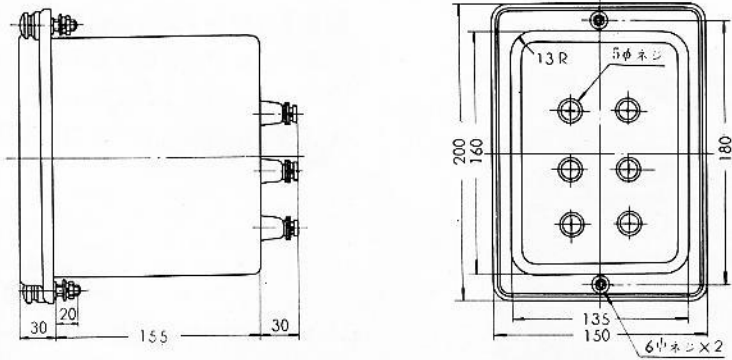
第 4 図 外部接続図 (裏面)

CVH-E 形 高速度地絡電圧継電器標準定格表

形 式	定 格	電 圧 整 定 範 囲	消 費 電 力	周 波 数	備 考
CVH-E	190 V 10 Min	35 - 40 - 45 - 50 - 55 - 60 V	190V にて 20 VA	50 ~ または 60 ~	埋 込 形

- (注) 1. 重量は約 4.2 kg です。
2. 表面丸形、引出形も標準として製作しております。

外形寸法



第5図 CVH-E形継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形状：埋込形、引出形、表面丸形の別
2. 用途：使用回路
3. 周波数：50、60 \sim の別
4. その他：標準外の仕様がある場合